



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 任天堂株式会社

コード番号 7974 URL <https://www.nintendo.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 俊太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部長 (氏名) 三宅 浩二 (TEL) 075-662-9600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	572,363	132.1	56,928	4.4	95,822	△15.6	96,032	18.6
2025年3月期第1四半期	246,638	△46.5	54,510	△70.6	113,469	△55.3	80,954	△55.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 76,024百万円(△43.9%) 2025年3月期第1四半期 135,446百万円(△43.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	82.48		—	
2025年3月期第1四半期	69.53		—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,472,673	2,702,510	77.8
2025年3月期	3,398,515	2,725,446	80.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,701,388百万円 2025年3月期 2,724,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2025年3月期	—	35.00	—	85.00	120.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		—	—	—	129.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※配当は、各期の利益水準を勘案し、中間と期末の年2回行うことを基本方針としています。なお、2026年3月期の連結業績予想を通期のみで作成しており、中間と期末の配当を分けて予想することができないため、年間配当金の合計のみを記載しています。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900,000	63.1	320,000	13.3	380,000	2.1	300,000	7.6	257.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,298,690,000株	2025年3月期	1,298,690,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	134,441,816株	2025年3月期	134,441,816株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,164,248,184株	2025年3月期1Q	1,164,238,449株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有(任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績および配当金を含みますが、これらに限りません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	P. 7

1. 経営成績等の概況

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期（2025年4月～6月）は、新たなビデオゲーム機であるNintendo Switch 2 を6月5日に発売しました。当社ゲーム専用機の発売後4日間の世界累計販売台数（セルスルー*）としては過去最高の350万台を突破し、好調な滑り出しとなりました。想定を上回る大きな需要にお応えできるよう、生産体制を強化して供給に努めています。

Nintendo Switch 2 ソフトウェアについては、ハードウェアと同時に発売した『マリオカート ワールド』が、ハードウェアに同梱した販売も含めて563万本の販売を記録しました。そのほか、Nintendo Switch 2 では専用のソフトに加えて、Nintendo Switchソフトも遊んでいただくことができることから、『マリオカート8 デラックス』や『スーパー マリオパーティ ジャンボリー』など、前期以前にNintendo Switch向けに発売したタイトルも順調な販売となりました。

これらの結果、Nintendo Switch 2 ハードウェアの販売台数は582万台、Nintendo Switch 2 ソフトウェアの販売本数は867万本となりました。また、Nintendo Switchハードウェアの販売台数は98万台、Nintendo Switchソフトウェアの販売本数は2,440万本となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、主にNintendo Switchのパッケージ併売ダウンロードソフトの売上が減少したことにより、デジタル売上高は698億円（前年同期比13.5%減）となりました。

IP関連収入等については、主に映画関連の売上が減少したことにより、売上高は167億円（前年同期比4.4%減）となりました。

これらの状況により、売上高は5,723億円（うち、海外売上高4,550億円、海外売上高比率79.5%）、営業利益は569億円となりました。また、持分法による投資利益207億円を計上したことなどにより経常利益は958億円となりました。さらに、投資有価証券売却益323億円を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は960億円となりました。

*小売店様や当社直販サイトから個人のお客様への販売数。当社の販売数（セルイン）とは異なります。

(2) 連結財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ741億円増加し、3兆4,726億円となりました。有価証券や棚卸資産などが減少したものの、受取手形及び売掛金などが増加したことが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ970億円増加し、7,701億円となりました。支払手形及び買掛金などが増加したことが主な要因です。

純資産は前連結会計年度末に比べ229億円減少し、2兆7,025億円となりました。その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定などが減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する説明

当期の業績予想については、2025年5月8日に公表しました業績予想からの変更はありません。

Nintendo Switch 2 では、性能の向上や新たな機能の追加など、ハードウェアの魅力をお伝えするとともに、その魅力を堪能できる新規タイトルを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化と普及拡大を目指します。

Nintendo Switch 2 のソフトウェアについては、7月に発売した『ドンキーコング バナンザ』や『スーパー マリオパーティ ジャンボリー Nintendo Switch 2 Edition + ジャンボリーTV』に続き、8月には『Drag x Drive』と『星のカービィ ディスカバリー Nintendo Switch 2 Edition + スターリーワールド』の発売を予定しています。また、10月には『Pokémon LEGENDS Z-A Nintendo Switch 2 Edition』や、本タイトルをNintendo Switch 2 に同梱したセットも同時に発売予定です。ソフトメーカー様からもバラエティ豊かなタイトルが発売される予定であり、好調なスタートを切った『マリオカート ワールド』の話題性を維持するとともに、これらの新規タイトルを継続的に投入することにより、ソフトウェア販売の最大化を目指します。

Nintendo Switchについては、『Pokémon LEGENDS Z-A』等の新作タイトルの発売とともに、ハードウェアの普及基盤と豊富なソフトウェアラインアップを活かして、定番タイトルの販売拡大、並びに稼働の維持に努めます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586,275	1,535,968
受取手形及び売掛金	65,180	315,508
有価証券	471,915	373,196
棚卸資産	486,428	425,828
その他	142,603	169,303
貸倒引当金	△52	△97
流動資産合計	2,752,352	2,819,708
固定資産		
有形固定資産	112,612	112,825
無形固定資産	23,362	23,854
投資その他の資産		
投資有価証券	369,373	365,985
その他	140,814	150,298
投資その他の資産合計	510,188	516,284
固定資産合計	646,162	652,965
資産合計	3,398,515	3,472,673
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	201,091	279,700
引当金	4,485	1,703
未払法人税等	34,726	31,925
その他	357,342	380,735
流動負債合計	597,646	694,065
固定負債		
引当金	4	—
退職給付に係る負債	28,821	28,842
その他	46,596	47,254
固定負債合計	75,422	76,097
負債合計	673,068	770,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	15,186	15,186
利益剰余金	2,732,509	2,729,580
自己株式	△271,015	△271,015
株主資本合計	2,486,746	2,483,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,469	61,321
為替換算調整勘定	170,112	156,250
その他の包括利益累計額合計	237,581	217,571
非支配株主持分	1,119	1,121
純資産合計	2,725,446	2,702,510
負債純資産合計	3,398,515	3,472,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	246,638	572,363
売上原価	94,178	387,208
売上総利益	152,460	185,155
販売費及び一般管理費	97,950	128,226
営業利益	54,510	56,928
営業外収益		
受取利息	16,132	10,956
持分法による投資利益	9,563	20,782
為替差益	30,644	2,269
その他	2,781	5,253
営業外収益合計	59,122	39,262
営業外費用		
有価証券償還損	—	231
その他	162	137
営業外費用合計	162	368
経常利益	113,469	95,822
特別利益		
固定資産売却益	4	7
投資有価証券売却益	—	32,300
特別利益合計	4	32,307
特別損失		
固定資産処分損	19	74
特別損失合計	19	74
税金等調整前四半期純利益	113,454	128,055
法人税等	32,490	32,020
四半期純利益	80,964	96,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,954	96,032

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	80,964	96,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,437	△6,501
為替換算調整勘定	44,104	△8,803
持分法適用会社に対する持分相当額	4,940	△4,704
その他の包括利益合計	54,482	△20,010
四半期包括利益	135,446	76,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,437	76,021
非支配株主に係る四半期包括利益	9	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

当社グループ（当社及び連結子会社）は単一セグメントのため、記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産の減価償却費及びのれんの償却額を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,297百万円	4,260百万円

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年7月31日

任天堂株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人
京都事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若山 聡 満
--------------------	-------	--------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西村 祐 介
--------------------	-------	--------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐川 喜 一
--------------------	-------	--------

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている任天堂株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しています。
2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。